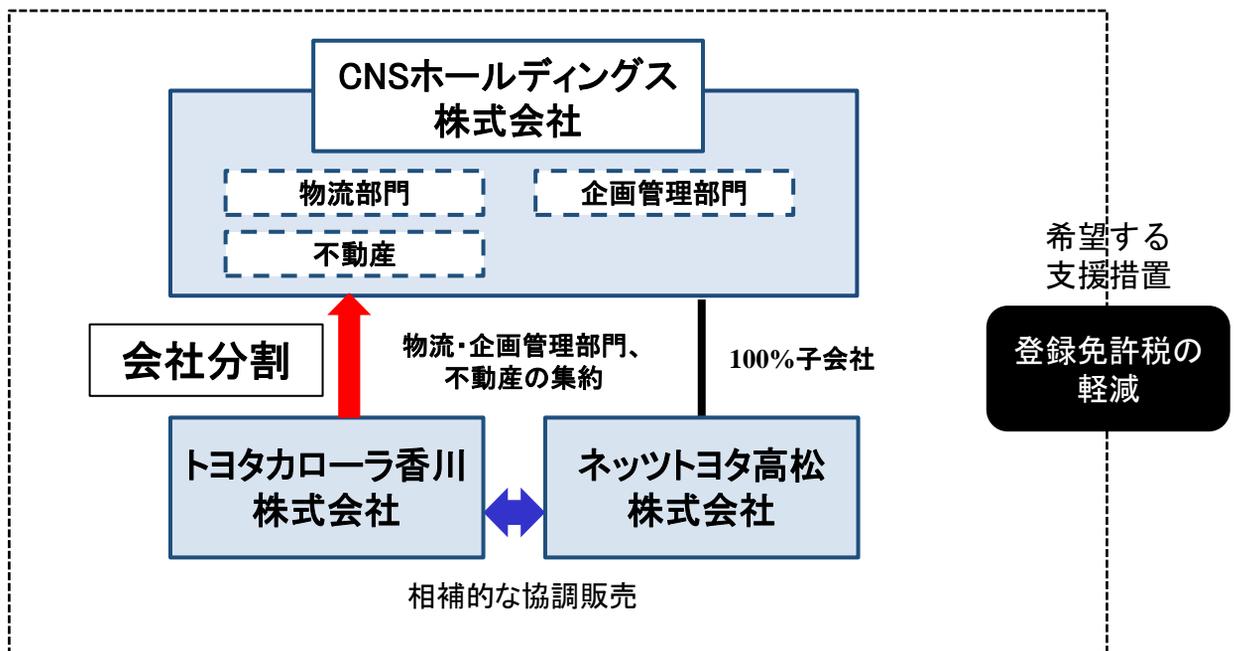


CNSホールディングス株式会社の「事業再編計画」のポイント

CNSホールディングス株式会社はグループ企業であるトヨタカローラ香川株式会社から会社分割により不動産事業の移転を受け、合わせて新車点検・中古車商品化などの物流部門と店舗の企画管理部門を、CNSホールディングス株式会社に集約するとともに、販売部門、物流部門において新たなシステムを導入し、業務の効率化を図る。

さらに、CNS HDの100%子会社であるネットヨタ高松株式会社の販売部門、物流部門も同様なシステムを導入し、それぞれの店舗、販売、顧客管理のノウハウを共有化し、グループ全体での合理的な経営体制を可能にする。

経営資源の最適配置によって、生産性の向上並びに付加価値創出を図り、グループ全体として、企業価値のさらなる向上を目指す。



【生産性の向上】

- ・従業員一人当たりの付加価値額を令和10年3月までに12.73%向上させる。

【財務の健全性】

- ・有利子負債/キャッシュフロー 5.1倍
- ・経常収支比率 115.0%

【商品の新たな販売方式の導入】

- ・計画最終年度(令和10年3月期)において、自動車販売1単位当たりの販売費の比率を基準年度(令和6年3月期)と比して6.12%削減する。

【計画の実施期間】

- ・令和7年4月～令和10年3月